

5-②

保護者による保護者啓発の取組

まずは、町教育委員会から家庭教育推進委員会家庭部会だより「手をつなごう」を通して、取組の周知やアンケートの協力を依頼しました。軌道に乗ってからは、家庭部会として広報を行いました。

家庭教育推進委員会 家庭部会 **手をつなごう** 平成30年11月19日 第2号

家庭学習するために心のスイッチをONにしよう

家庭学習アンケートの記述欄に書かれていたことについて紹介します。

**保護者編**

- 自由意思で学習を進めていく方針となったことで、習慣化されていない学習時間が子どもをなまけてしまっているようです。学習習慣を身につけさせなかったことを後悔しているところです。
- 上の子を見ていて思いますが、低学年での習慣づけがその後の学習に大いに影響してくると思います。内容はその次でもっとかかるといいと思います。
- 家庭で過ごす時間について、自分で割り振ることができるようになればと思います。
- どうしても家庭学習が大切なのかということ子どもに分かってもらい、毎日習慣になることがとても重要だと思います。そのためには、粘り強く関わって声掛け等していかなければと思っています。
- 常に応援しているというプラスの言葉かけをすることでやる気を出すようです。やらされるようではだめだと思います。
- 子どもが小学生のうちは親がしっかり見てほめてあげる。

「1年生のときからしているから」「するのが当たり前から」という子どもの声からわかるように、習慣化ができていて6年になったとき、家庭学習を自分から進んでできるようになるようです。習慣化のために、保護者の皆さんが「劇にいたり」「答え合わせをしたり」「分からないことを教えたり」「一緒に調べたり確かめたり」といういろいろなかわりを持っていらっしゃるということがアンケートからわかりました。小学校低学年でしっかりかわり、習慣化できていると高学年、中学校で家庭学習に取り組めることが保護者の方から声からもうかがえます。

**児童・生徒編**

- 将来のために好きな高校に行くためにすることだと思うから、役に立つと思う。(中学校2年生)
- 復習にもなるから。学校で一回よりも家で2回した方がいからしている。(中学校3年生)
- 自分のわからなかったところが分かって100点がとれるからしています。(小学校4年生)
- 学校で習ったことを復習して覚えらるから役に立つと思う。(中学校1年生)
- 学習することによって分からなかったことが分かるようになるからしている。(小学校6年生)
- たくさんのことを習うから忘れてしまわないように家庭学習をがんばっています。(小学校3年生)
- 学校で習った勉強を思い出すためにしています。(小学校2年生)
- 家で学習してから行く自信がつくし、学校の学習の振り返りもできるから役に立っています。(小学校5年生)

小学校低学年のころに、おうちのひとといっしょに家庭学習をすることや家庭学習をしてほめられたという経験が大切にります。  
また、小学校高学年になると「宿題をやれやれと言われるとやる気が出ない」というように、家族の関わり方で学習意欲が変わってきます。声のかけ方や関わり方も工夫が必要だということがわかります。

家庭部会では、自分で自分をコントロールできる子をめざして、「家庭学習に進んで取り組むぞ。」「応援してもらっているからがんばるぞ。」と子どもたちが思うことのできる言葉かけを考えていきたいと思えます。  
そこで、家庭部会では、今年度子どもたちが家庭で学習する気になる言葉「学習するために心のスイッチをONにする言葉」を集めてみることに取り組みます。  
保護者の皆様が子どもさんにかけて効果的だった言葉、自分が子どものころにおうちのひからかけられて効果的だった言葉をたくさん教えてください。  
例えば…

- もうテレビの時間は終わりましたよ。
- 今日何を習ったの、教えて。
- いっしょにしてみようか。
- いつする?

保護者の皆様、ご協力よろしくお願いします。  
文責：岩美町教育委員会事務局 田中

保護者から集まったアンケートをもとに作成した「学習するためのスイッチをONにする言葉」の配布と活用依頼。

提出されたアンケートをもとに今後も言葉かけを依頼するたよりを配布。

**学習するためのスイッチをONにする言葉**

子どもたちが家庭で学習する気持ちになる言葉「学習するためのスイッチをONにする言葉」を集めました。ご家庭でも声かけの際に参考にしてみてください。

**小学校低学年**

お子さんの側で家庭学習をする際に見守ったり学校で学習したことをたずね一緒に学習したりして、学習習慣を身につけるようにしていきましょう。

- どんなふうにするのかやってみて!
- がんばれ!
- 前よりよくできるようになったね。
- 一緒にするよ!
- 何時から始める?
- 漢字のはらいが上手だね!
- 後で困るのはだれかな?
- やらないといけないことは先にしよう

**小学校中学年**

進んで家庭学習をするための言葉かけや家庭学習はするものという気持ちになるような言葉かけをしていきましょう。

- 宿題をしただけ好きなことをしてもいいよ!
- 1、2、3、Go! さあ、そろそろやろうぞ!
- 宿題をちゃんとやってくと気持ちいいよ!
- みんなで、一緒にしよう!
- 宿題がなくても1日1つは勉強しよう!
- 自分から進んでるともっといいよ!
- やるべきことはしよう!
- テレビが見たかったら0時までにはいって見られないよ

**小学校高学年**

将来について考えさせたり、家庭学習は自分のためのものだという声かけをしたりして、進んで家庭学習に取り組むようにしていきましょう。

- 困るのはお母さんじゃないからね。
- やることをしてから好きなことはしよう!
- やるべきことは早く、後はゆっく。
- 今日もがんばってね!
- さあ、何時から始める!
- 今日もがんばってね!
- 努力は必ず報われる。
- 将来やりたい職業に就くためには、どんなことが必要かな?

中学生は、注意をする言葉が多くなって、やる気を起こすための言葉かけはぐっと減っているようです。中学生になるまでに、進んで家庭学習をする習慣を身につけたいものです。

夏休みに向けて、言葉の活用と使ってみた感想の提出依頼。

家庭教育推進委員会 家庭部会 **手をつなごう** 令和元年11月1日 第1号

家庭学習をするためのスイッチをONにする言葉を使ってみて

岩美町は昨年度から「学力向上に向けた教育委員会・学校・家庭連携事業『家庭学習の質の向上推進』」という鳥取県指定の事業をうけ、取り組みを進めています。昨年度、「家庭学習をするためのスイッチをONにする言葉」を作り、各ご家庭に紹介させていただきました。  
今年は、夏休み期間中にこの言葉を使っていたいて、子どもたちがどのような様子だったのかを教えてください。また、どのような紙を配布させていただきました。95家庭から回答をいただきました。ありがとうございました。いくつかの言葉と様子を使います。

**中学校**

- 〇頑張ってるね。子どものペースもあるので、子どもなりに頑張っているところを認めてあげること前向きに取り組む応援になればと思っています。
- 〇早く終わらせると後が楽だ。そんな、分かってるし!と言われました。計画的に自分でやっている様子の見られる時は、私は声かけをおまじない。
- 〇遊びやゲームは勉強してからしよう。親の言う事をまっすぐに聞いているので、決めた事をしてからというスタイルはできているので声かけをするよう心がけている。
- 〇親が一方的に「早くしなさい」と言ってもONにはならないと思います。ONになる言葉が一致してくれると親子で気持ち良く行動できると思います
- 〇やる事を早くしてあとは好きな事しなさい。「分かった」と言って行動してくれた。
- 〇好きなだけ勉強しなさい。自分で目標を持って勉強しているので、声かけは特に必要ない。
- 〇夢をもって志を立てよう。テストの結果をみて認識が変わった。
- 〇勉強は?いつから(何時から)するの? 「じゃあ0時からやる」と時間を自分で決めて勉強を始めました。

中学生になったお父さんは、もう強制的な言葉では聞かないようす。親子で決めたONになる言葉を見つけていただきたいと思います。